

第260回 番組審議会

1. 日 時 平成29年3月14日（火）12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 9名
出席委員数 8名（欠席委員数 1名）

○ 出席委員（敬称略）

鈴木 厚人（委員長）
九萬原 敏巳（副委員長）
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
菅原 正二
升田 久美子
八木橋 伸之
役重 真喜子

○ 会社側出席者（7名）

藤澤 利憲（代表取締役社長）
小原 忍（取締役副社長）
藤原 銀司（常務取締役）
工藤 浩（取締役東京支社長）
高嶋 昇（取締役営業編成局長）
青田 優（編成部部長）
佐々木 雅啓（技術部副部長）

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『平成29年度4月改編と めんこいテレビの4K、VR等の取り組みについて』

5. 議事概要

今回は、「平成29年度4月改編とめんこいテレビの4K、VR等の取り組みについて」と題し、会社側から4月の番組改編の内容と、今後の展望について説明をし、その後、4Kの視聴とVR（バーチャル・リアリティ）を体験しました。概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ編成部長 青田からの説明

・ドラマについて、月曜夜9時の新ドラマは「月9ドラマ30周年」に相応しい豪華キャストで主演が嵐の相葉雅紀、タイトルは「貴族探偵」。火曜9時の関西テレビ制作ドラマは、小栗旬主演、西島秀俊との強力タッグによる「CRISIS公安機動捜査隊特捜班」、日曜夜9時は裏局も強い時間帯で苦戦しているが、家族で見られるドラマとして観月ありさ主演「櫻子さんの足下には死体が埋まっている」を編成し、視聴率が根付いていくよう広報展開する。

・自社制作番組は改編を少なくしているが、新たに木曜日の「みんなのニュース」の前午後4時20分から50分に「山・海・漬傑作選」を編成。デジタル放送以前の2006年頃まで振り返り再放送する予定。

・4月から地域に向け雰囲気醸成を図っていこうと「めんこいテレビILCキャンペーン」をスタートさせる。又、昨年に引き続きアナウンサー出演CMも実施する。地域に根ざした形で視聴率を取りながらニュースを盛り上げていく。

●岩手めんこいテレビ技術部副部長 佐々木からの説明

・「4K」とは、フルハイビジョン（HD）の画素数、きめ細やかさをさらに4倍にすることによって、よりきめ細やかな表現ができる映像にする技術。既にCS放送のスカパーやインターネットのひかりTV、ネットフリックス等では配信が始まっており、2018年12月から在京キー局、NHKはBSによる

放送として4Kを始めることが決定している。

・めんこいテレビもコンテンツを作りBSを通じて岩手の番組を放送してもらうことを視野に入れて取り組んでいる。昨年4月には、簡易型4Kカメラと編集機を導入し9月に「にっぽん4K巡り岩手篇～ぐるっと盛岡女子2人旅～」を制作、同じく10月には「岩手めんこいテレビ開局25周年・平泉世界遺産登録5周年記念 如意輪講式～秀衡の母願う平和への思い～」を制作しどちらの番組も現在もひかりTVで配信中。来年度も4K撮影、制作配信を継続しコンテンツを充実させていく予定。

・新技術関連のトピックスとして、VR（バーチャル・リアリティ）が注目されている。昨年台風で大きな被害を受けた岩泉町の龍泉洞の再開に合わせ、洞内を撮影して配信し観光PRの一環にしたいと考えている。又、地上波のインターネット配信については、3月26日午後2時から放送する「めんこいILCキャンペーン特別番組 未来はどう変わる？～ILCとつくる『みんなの未来』を知ろう～」を地上波と同時にインターネットで国内外に向け配信する。

●出席した委員からは、

- ・4Kの映像や音声について
- ・民放の4K対応の今後の予定
- ・ローカル局としての4K設備投資についてなどの質問のほか、
- ・VRの活用
- ・コンテンツの積極的な制作を期待する意見などが出された。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成29年3月15日（水） 産経新聞 東北版

※平成29年3月25日（土）午前4時12分から4時15分まで
「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成29年4月11日（火）12時より ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING 11階マーキュリーにて開催予定です。